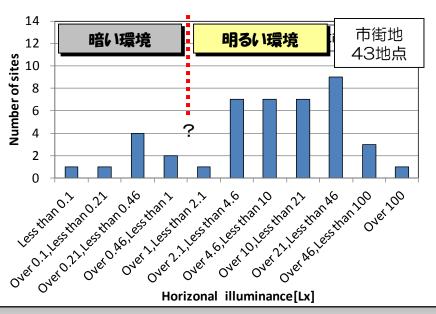
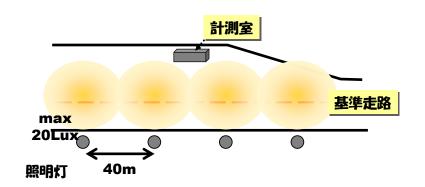
照度環境

○照度環境の条件設定

調査研究(夜間性能実験)の結果をもとに、試験時の照度条件や得点配分等を設定する。





前照灯条件

〇前照灯の点灯設定

- 事故実態(夜間事故の90%はロービーム点灯)を考慮し、基本は「ロービーム」が考えられる。
- ・自動切替式前照灯や自動防眩式前照灯装着車両については「オート」位置が考えられる。ただし、「明るい環境」条件で実施する場合は、市街地では各種光源が点在するため、試験路ならハイビーム切替が機能したとしても、実路環境では必ずしも機能するとは限らないことを考慮すると「ロービーム」も考えられる。

調査研究における試験条件

- 下線付きパラメータが標準条件、それ以外は比較用条件
- 車速条件は30~60km/h or 衝突速度30km/h程度まで
- ・比較用条件は、代表車速50km/h or 標準条件における衝突開始車速付近で実施
- ・試験手順は昼間試験と同様(N=3、10km/h飛ばしあり)
- ・回避/非作動確認はN=1~2、厚めに取る条件(比較用や再現性確認)はN=5~7

(1) CPFシナリオ

①設定衝突ポイント(オフセット):25%、50%、75%

②歩行速度 : <u>5km/h</u>、8km/h

③照度環境の影響 : 照明OFF、5Lx,10Lx、<u>15Lx</u>、20Lx

④ターゲットの上着色の影響:<u>黒色、白色、グレー系</u>

(2) CPFOシナリオ

①遮蔽車両違いによる影響: N-BOX(白、ハロゲン)、ハイエース(黒、LED)

②ターゲットの上着色の影響:黒色、白色、グレー系

(3) その他オプション

①低温時の減速性能影響調査:0℃付近と5℃以上における0.4~1.0G制動

②背景処理の影響調査:奥側照明OFF、土手の暗幕処理等

③暗い環境での性能調査:ロービーム、ハイビーム(自動)